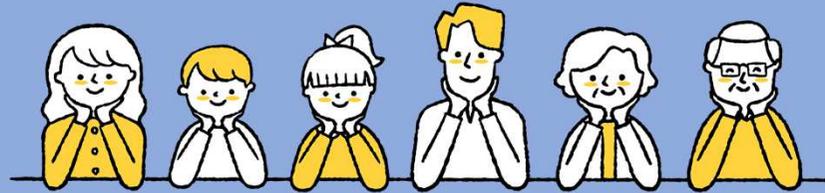


人がつながり、支え合い、チャレンジし続ける
東部まちづくり

Action Plan



2022年度～2024年度



発行 小牧市

あなたは、
東部地域、
好きですか？

私はこのマチ好きだけど
私の子ども達は
ここにずっと住んでくれるかな？



最近
高齢化が急速に進んでる
気がする……



最近
まちに活気がなくなった
気がする？

多様な人々が生活する小牧の東部地域。

ここで生まれた人、

将来に希望を描いてやってきた人、

様々な人生がここで生まれ、

マチと共に歩んできました。

そんな東部地域が今、

たくさんの課題を抱え、悩んでいます。

2022年3月に策定された「東部振興構想」は、

課題を希望に変えるための指針です。

ここに、あなたの「好き」を足してあげたら、

このマチは、もっと素敵になるはず。

みんなで協力して取り組む
東部地域のまちづくりに
参加してみませんか。

一緒にまちづくりをやってみない？



一回でも参加してみませんか

地域の課題は、みんなの課題

まちづくりを自分ごととして捉えることが必要。

だけど、まちづくりって少し面倒。

でも、こんな人口減少が進む時代だからこそ

人のつながりが大事で、人とつながることは

うれしいこと、楽しいこと。

そんな時代に東部地域で進める取組を

まとめたのがこのAction Plan。

こんな取組に参加したいと思う人を

増やすため、このAction Planを作成しました。

目次

プロローグ・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

アクションプランと
リーディングプロジェクトって何？・・・・ P6

東部振興構想とアクションプランの関係・・・・ P7

東部まちづくりの進め方・・・・・・・・ P11

リーディングプロジェクト・・・・・・・・ P13

実施中の取組一覧・・・・・・・・ P19

その他の新たな取組一覧・・・・・・・・ P31

東部まちづくりの進捗確認・・・・・・・・ P33



アクションプランと
リーディングプロジェクトって何？

東部地域のまちづくりの
取組を見える化したものです。



- Action Planとは、
東部振興構想(2022年度～2031年度)
に基づき、今後、3カ年の取組を毎年まとめる
ものです。
- Leading Projectは、
東部地域で関係者(住民、事業者、団体、
学校など)とともに、新たに実施する取組のほか、
これまでの取組を組合せ、
プロジェクトとしたものです。

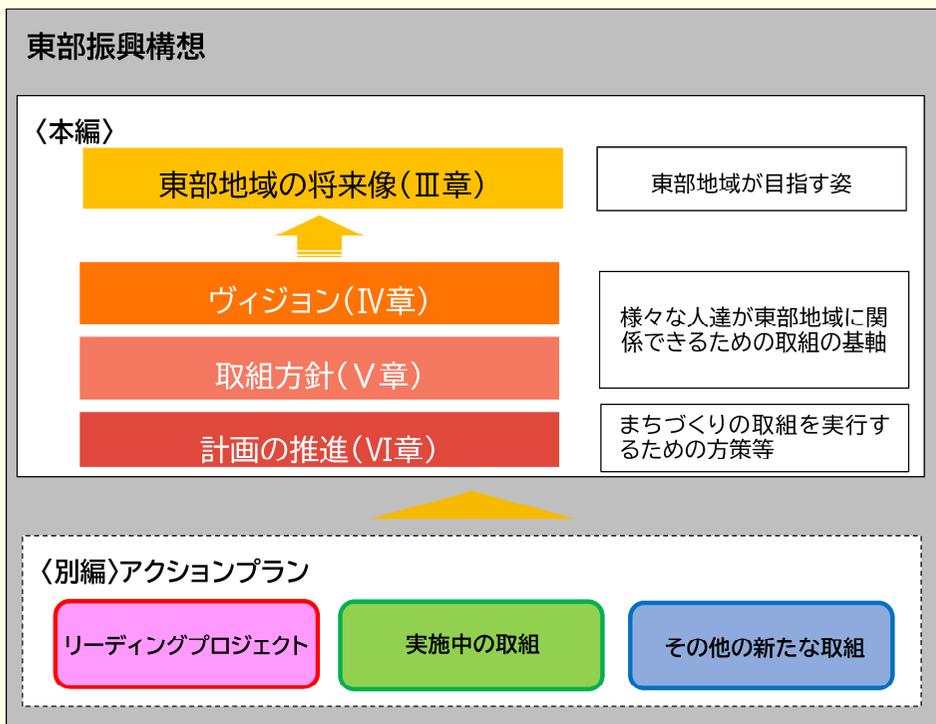
東部地域では、これまで様々な取組が行わ
れています。

そんな取組みや新たに進める取組などを
多くの人に知ってもらい、
参加してもらいたくて、
リーディングプロジェクトを見える化します。





東部振興構想とアクションプランの関係



※東部振興構想の体系は9・10ページにあります。



アクションプランと東部振興構想って、なにがちがうの？



構想は、まちを良くするための「行動のみちしるべ」、アクションプランは、「行動のみちしるべ」に沿って進められる取組をまとめたものだよ。



へ～そうなんだ。でも、アクションプランって具体的にどんなことがまとめられているのかな？？



アクションプランは、「リーディングプロジェクト」や「実施中の取組」、「その他の新たな取組」から成る市が毎年策定する3カ年のローリング計画だよ。



なるほど！これをみれば、今、東部地域で、どんなことが進められているかわかるってことだね！！

東部振興構想の体系

●まちづくり5原則<Ⅲ章>

一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり

柔軟性・可変性	柔軟性・可変性を持ったまちづくり
将来性	チャレンジをサポートするまちづくり

将来像<Ⅲ章>

“人がつながり、
豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり”

豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり

ビジョン<Ⅳ章>

- 多様な人が暮らし続けられるまち
《対象:居住者》
- 多様な職業が共存し、持続できるまち
《対象:就業者》
- 訪れたい、住みたい魅力のあるまち
《対象:来訪者・転入者》

取組方針<Ⅴ章>

高齢者	①高齢者が安心して暮らせる環境の整備
子育て世代	②子育て世代にとって魅力ある環境の整備
次世代	③若者が東部地域に愛着を持てる環境の整備
交流	④世代・国籍を越えた住民交流の促進
都市インフラ	⑤都市インフラの有効活用
農業・商工業	①地域の生業が持続・活性化する環境の整備
新規ビジネス	②新しいビジネスの創出
地域資源	①地域資源の保全、魅力向上及び発信の強化
住まい	②若年世代も住みたいくなる住まいの創出
住民活動	③ウェルカムなまちの雰囲気創出

計画の推進<Ⅵ章>	まちを育む体制の構築
-----------	------------

産学官民	方向① 人と人がつながる仕組みの構築
地域経営	方向② 地域活動の自立性や持続性を担保する地域経営の取り組み

取組の方向(内容)<Ⅴ章>

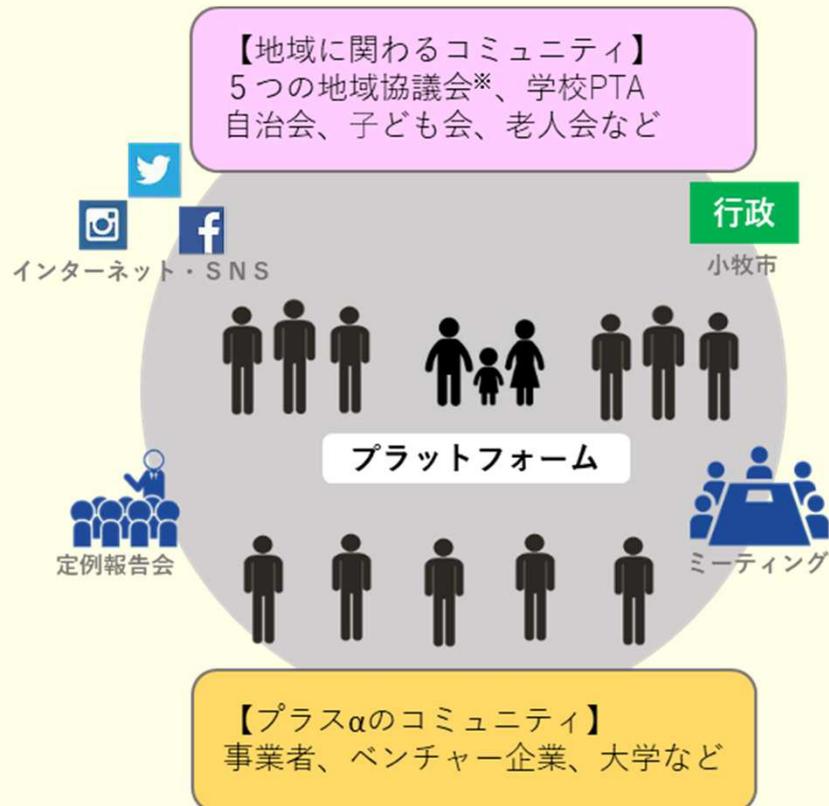
1. 支え合い等による日常生活の利便性の向上
2. 高齢者のいきがい・居場所づくり
1. 地域一体での子育ての仕組みの構築
2. 多様な働き方ができる環境の整備
1. 地域の知り合いづくりの機会の創出
2. 地域を学ぶ(知る)・参加・提案する機会の創出
1. 世代を越えた住民の交流機会の創出
2. 外国人・日本人住民の交流機会の創出
1. 公共空間の活用の促進
2. 先進技術を活用した地域内移動の確保
1. 農家を支え、発展させる仕組みの構築
2. 商工業を支える仕組みの構築
3. 農・商・工・福の連携の促進
1. ソーシャルビジネスの活動促進
2. チャレンジしたい起業家などの活動促進
1. 地域資源を活用した新たな魅力の創出
2. 公園・緑道等を活用した魅力の発信
3. 時代にあった地域魅力の発信
1. 既存住宅を活用した新たな住宅供給
2. 安全・安心な住環境の整備
1. 新たな住民の受け入れ体制・雰囲気づくり
2. 新たな住民を呼び込む活動の創出

1. プラットフォームの構築
2. 中間支援組織の活用・育成
1. 好循環の地域経済の仕組みの構築
2. スタートアップ支援



東部まちづくりの進め方

東部まちづくりプラットフォーム



東部まちづくりってどんなまちづくりを目指しているの??



今後の東部まちづくりは、地域住民をはじめ、事業者、教育機関、行政などがつながり、支え合い、チャレンジし続けるまちを目指しているよ。
そのためにも、構想やこのアクションプランを多くの人に知ってもらうことが大切なんだよね。



へ～そうなんだ。
でも、地域住民や事業者、教育機関が
つながる場ってなかなかないよね。ど
うつながっていくのかな??



東部まちづくりに興味のある人、誰で
も集える場として、東部まちづくりプ
ラットフォームっていう、いろんな人
と対面はもちろん、インターネットや
SNSなど様々なものでつながれ、交流
できる場をつくらうとしているんだよ。



なるほど！
まずは、構想やアクションプランを廣
く知ってもらい、この東部まちづくり
プラットフォームに参加する人を増や
していくことが大切なんだね。



リーディングプロジェクト

LEADING

1 人と人がつながるプロジェクト

PROJECT

まちづくりの基盤となるプラットフォームづくりのキックオフとして、東部振興構想策定の際、開催した東部まちづくりワークショップを発展させ、より本格的に取組実施を想定したワークショップを開催します。

LEADING

2 まずはやってみようプロジェクト

PROJECT

人と人がつながるプロジェクトで、具体化したアイデアや東部地域に関わる方が自発的に提案する新たな取組、既存の取組をさらにブラッシュアップした取組を行政に提案し、実際にトライアルしてみます。

人と人がつながるプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

顔見知りを増やすことで、多様な人が地域活動、まちづくりに参加し、いろいろな取組のアイデアが議論され、行動の起点の場がつくられている。

プロジェクトの概要

いろいろな人とつながろう！！

東部地域には、高齢者、子育て世代、こどもも住んでいて、外国人もいます。さらには、事業所もあれば、大学もあります。

顔見知りを増やすことで、自分だけでは達成できない課題でも、みんなで協力すれば達成できるかもしれない。

そんな人と人がつながれる場を、まずは行政が設定します。



地域の人達のために
マルシェみたいなきょうじょうが
できないかな



WSへ児童・生徒・学生の参加
先生・教授からのアドバイス

WSへの参加
取組の企画

学校

WSへ社員の参加
取組へのバックアップ

市民(住民、NPO)

WS

事業者

行政

WSの運営
メンバー募集

注:WS=ワークショップ

プロジェクトのプロセス

STEP1 もっと多くの人と交わろう

まちにはもっとたくさんの方がいて、いろんな意見を持っている方がいます。新たなメンバーも加えて東部地域の中でどんなことができたらいいか、考えます。

STEP2 東部地域に出よう

STEP1で考えたことは地域でどのくらい必要なのか、実際にやろうとしたらどんなことが求められるのか、まちを歩いて、東部地域の人たちの声を聴きながら、イメージを膨らませます。



この場所なら
マルシェができるかも

STEP3 アイディアを磨き、企画のまとめ

何を、いつ、どこで、誰と、どんなふうにするか。その準備にどのくらい時間が必要か。スケジュールを立てながら、みんなで無理なくできる企画提案(補助金申請書)をまとめます。

まずはやってみようプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

地域の住民や企業、大学、行政などが協力して、チャレンジしている！！

プロジェクトの概要

失敗をおそれず、やってみる！！



リーディングプロジェクト1で具体化されたアイデアや東部地域に関わる方が自発的に提案する新たな取組、既存の取組をさらにブラッシュアップした取組を市に提案し、実際にトライアルしてみます。提案された取組で、東部振興構想到に合致する場合、認定支援タイプと補助金支援タイプの2種類でプロジェクト認定され、活動が円滑に進められるよう、市から支援を受けられます。

【認定支援タイプ】公共施設の減免利用が可能。

【補助金支援タイプ】認定支援タイプに加え、補助金上限20万円(補助率100%)

無理せず
やれる範囲から進め
まずはやってみよう



トライアルへの参加
先生・教授からのアドバイス

トライアルの
運営・報告

市民(住民、NPO)

学校

トライアル

行政

フィールド提供
規制緩和等・財政支援

トライアルへの参加
バックアップ

企業

プロジェクトのプロセス

STEP1 企画提案をしよう

スケジュールに無理はないか、かかる費用は妥当なのか、確認したうえで、市に企画提案書を申請します。市の審査を受け、プロジェクト認定を受けます。

STEP2 まずはやってみよう

STEP1で立てた企画を、実際にやってみます。実施にあたっては、みんなで協力し(役割分担)、地域の声も聞き(交流)ながら進めます。また、やって「おしまい」とならないよう、イベント等に参加してくれた方々の感想をフィードバックしたり、次の取組に必要なお金を「稼ぐ」という仕組みづくりも併せて考えます。

STEP3 振り返ってみよう

やってみた企画の良かったところ(Keep)、悪かったところ(Problem)、次はこうしてみたい！(Try)について、整理し、持続的な活動のためには何が必要か振り返り、実施報告書を作成し、報告会を行います。





実施中の取組一覧

1-① ヴィジョン1 高齢者

〈参考指標〉

生きがいを持って暮らしている
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
支え合いいきいきポイント推進事業	小牧市・地域協議会	介護施設、サロン運営、日常生活におけるちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)等を支援した場合にポイントが付与される事業。ポイントは市内限定商品券と交換ができる取組。
こまき巡回バス「こまくる」 運行事業	小牧市	交通空白地域の解消や、公共施設の利用促進を主な目的として、こまき巡回バス「こまくる」を運行。
ふれあい・いきいきサロン	市民・社会福祉協議会	地域の地区会館などで高齢者などが気軽に足を運び、おしゃべりをしたり、体操や物づくりを通して住民同士のつながりを目的とするサロンを開いている。
地域お助け隊	篠岡学区地域協議会	地域住民のお困りごと(庭の草取り、剪定、水やり、窓ふき、電球交換、古紙・古布出し、話し相手など)について地域住民同士での助け合いを実施。
高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール	高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等の活動を実施。

〈参考指標〉

安心して子育てができると思う

20歳代から40歳代の割合 : 71.9% (目指す方向 ↗)

取組名	実施主体	取組内容
学習支援事業「駒来塾」	小牧市	経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力による学習支援を実施。
児童クラブ運営事業	小牧市	多様な子育て支援のニーズに対応することで、児童が安全・安心に過ごすことが出来る放課後の場所を充実させ、こどもたちの健全育成を図っている。
充実 放課後子ども総合プラン運営事業	小牧市	児童クラブと放課後子ども教室を一体的に、又は連携して行う。R3年度は小牧・光ヶ丘小学校でモデル事業を実施し、R4年度は事業を6校に拡大。東部地域では、篠岡小学校を追加する。
児童館管理運営事業	小牧市	児童福祉法に規定されている児童厚生施設である児童館の管理運営。東部地域には、篠岡児童館と大城児童館が整備されており、指定管理制度にて運営を実施。

〈参考指標〉

次世代が参加するプロジェクト数

(まちづくりのプロジェクト数) : - (目指す方向 ↗)

取組名	実施主体	取組内容
地域3あい事業	市民・小牧市	地区の集会所などを活用したふれあい活動や学びあいを通し、地域ぐるみで子育てに関わり、お年寄りを支えることができる「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを実施。
まちづくりスクールミーティング	小牧市	中学生と高校生の参加により実施し、グループワーク等を通して主体的に「まちづくり」について考えるきっかけとし、社会性を育むことを目的に実施。
特色ある学校づくり推進事業	小牧市	保護者や地域の方々とは協働して、通学時の見守りや総合の時間を活用した体験学習など、子ども達の安全確保や学習支援の活動を行っている。
中学生と市民団体の意見交換会	桃花台を考える会	桃陵中学校の生徒会と、自分たちが住む桃花台ニュータウン、東部地域について、よいところ、少し残念なところ、中学生としてできるまちづくりについて意見交換を実施。これまで2回実施。引き続き、意見交換を行っていく予定。

取組名	実施主体	取組内容
日本語教室	小牧市国際交流協会 (KIA)	地域在住の外国人を対象に日常生活に必要な日本語を習得するための講座を開催。新型コロナウイルス感染拡大期はオンライン授業により開催。
多文化共生ワークショップ	小牧市	日本人市民と外国人市民が、多文化共生の課題について意見交換を行うワークショップを開催。
充実 外国人児童生徒教育推進事業	小牧市	市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な児童生徒への指導を行う。今後、ベトナム国籍の就学児童が増えることが見込まれるため、新たにベトナム語の語学相談員を配置する。
日本語塾「手まり塾」	市民	市民が発起人となり、令和元年9月より、土曜日 午後4時から6時で大城児童館において、外国籍の小中学生に対し、マンツーマン方式による日本語学習をボランティアで実施。
外国籍生徒との座談会	桃ヶ丘小学校区 地域協議会	桃ヶ丘小学校区地域協議会と桃陵中学校の外国にルーツのある生徒が “みんな「地域の人たち」助けあって笑顔で暮らせるために！”を実現するため、座談会を開催。

取組名	実施主体	取組内容
(再掲) こまき巡回バス「こまくる」運行事業	小牧市	交通空白地域の解消や、公共施設の利用促進を主な目的として、こまき巡回バス「こまくる」を運行。
公園等の貸し出し (都市公園内行為許可など)	小牧市	地元の行事や市が後援するイベントなどを行う際、公園や緑道などの貸し出しを行っている。
アダプトプログラム	小牧市・市民	住民がボランティア活動として、市内の公共施設、たとえば、道路、公園などを愛情をもって面倒をみていく仕組みとして実施中。

〈参考指標〉

農業サポーター制度登録者数：24人（目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
(仮称)農業公園整備事業	小牧市	「食育と環境～農と里山の恵み・ふれあい～」を基本理念に、子どもや高齢者の方々を含めた全ての世代の市民を対象に、身近な農業を通じた食の大切さを理解する場とするとともに、里山を生かし自然環境とのふれあいの場を通して農業振興の発信を目指し整備を進める。
企業立地推進事業(次世代産業推進事業)、 中小企業支援事業、小売商業支援事業、 新産業創出事業	小牧市	各種補助メニューにより、市内に工場等を立地する企業や市内の中小企業等を支援する取組を実施。
小牧ワイナリー	社会福祉法人AJU 自立の家	障がいのある人たちの就労支援の場として、2015年4月にオープン。ワイン事業に取組み、ぶどうの栽培、ワインの生産、加工、販売まで行っている。
モモ栽培サポーター養成講座	JA尾張中央(春日井市・小牧市) 地域担い手育成総合支援協議会	モモの生産者の高齢化及び担い手不足の解消、モモの産地維持のため、栽培技術者の養成を栽培現場での実習を通して進めている。
モモ栽培サポータークラブ制度	JA尾張中央(春日井市・小牧市) 地域担い手育成総合支援協議会	養成講座受講者に対し、モモ栽培サポータークラブに加入していただき、援農コントラクターとして生産者を支援する取組。

〈参考指標〉

東部地域における起業・
創業に対する補助件数：6件（目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
創業支援セミナー	小牧市、小牧商工会議所、 愛知県信用保証協会	創業・経営に興味のある方などを対象に、創業の基礎知識やビジネスプランの立て方、計画的な資金調達などについて学ぶ創業予定者を支援するセミナーを実施。
課題解決型実証事業	小牧市	事業者等のIT技術等を活用し、地域課題や行政課題を解決できるか検討を行う。
(再掲)高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール	高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等の活動を実施。

〈参考指標〉

市のホームページ（東部まちづくりニュースのページ）：－
の年間アクセス件数

（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
新たな地域特産物の発掘 《こまきゴールド(桃)》	市内農家	「こまきゴールド」は、小牧市(上末)の桃生産者の桃園で発見された新品種。平成30年1月に農林水産省に登録を出願。数年間の経過観察を経て変異なく安定して生産できると認定されれば登録となる。新たな地域特産物となることが期待されている。
名古屋コーチンプロジェクト	小牧商工会議所	小牧市(池之内)から始まった名古屋コーチンという地域資源を最大限に活用し、「名古屋コーチン発祥の地」として、観光振興・事業振興に取り組んでいる。愛知県内でも減少傾向にある養鶏業者も小牧市では若い後継者により引き継がれている。
都市ブランド戦略	小牧市	「子育てしやすいまち」と「史跡小牧山」をブランドの柱と定め、市の魅力や他市と差別化できる強みを発信していく取組を実施。平成30年度に策定した「地域ブランド基本戦略2ndステップ」では「Innerブランディング」として市民向けのブランド発信を継続しつつ、「Outerブランディング」として市外に対しての情報発信や話題作りを並行して実施しており、これらの取組を通じて、小牧市への愛着・誇りの更なる醸成を進めていく。

3-② ヴィジョン3 住まい

〈参考指標〉

戸建て住宅の空き家数：166棟（目指す方向 →）

取組名	実施主体	取組内容
充実 空き家等対策推進事業	小牧市	空家等の流通及び活用を促進し、空家等の発生の抑制及び適切な管理を図ることにより、総合的な空き家等対策を推進するとともに、「住みたくなる」、「住みつづけたい」小牧を目指し「空き家総合相談窓口」や「空き家等除却工事費補助金」などの取組を実施。 また、令和4年度に全面施行された小牧市建築物等及び空き地の適切な管理に関する条例に基づき「緊急安全措置」などの対応を開始する。
空き家をつくらないセミナー	桃花台を考える会	「地域に空き家をつくらない」を目的に、地域住民向けに自分の家を将来、空き家にしない方法やポイントなどの内容のセミナーを実施。
「まちレポこまき」 (インフラの維持管理)	小牧市	道路、緑道、公園などの不具合をLINEにより市民から情報提供してもらう「まちレポこまき」を開設。24時間365日情報提供が可能となり、安全・安心なまちづくりに寄与している。
充実 定住促進事業	小牧市	現行の三世帯同居・近居住宅支援補助金の内容を見直すとともに、新たに市内就業者定住促進及び中古住宅活用に対する補助金を創設する。

〈参考指標〉

区や市民活動団体などが開催する活動に過去1年間で：29.4%
1回以上参加したことがある地域住民の割合（目指す方向 ↗）

3-③ ヴィジョン3 住民活動

取組名	実施主体	取組内容
東部地域に若者を呼び込む活動	桃花台を考える会	市民団体である桃花台を考える会が市内在勤者をターゲットに桃花台の魅力を発信し、定住者を増やす活動を企画。魅力を発信するためのチラシを作成し発信している。現在、魅力を発信するイベントについても検討中。
桃花台音楽まつり	桃花台を考える会	まちの魅力づくりのため、「音楽をまちの文化に」を掲げ、桃花台音楽まつりを開催。年2回開催を目標に取組を実施中。
協働提案事業化制度	小牧市	市民活動団体と行政それぞれが、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて取り組むことにより、小牧市を「市民が輝く活気あふれるまち」とすることを目的に実施。上記2つの取組も協働事業として実施中。



その他の新たな取組一覧

1-① ヴィジョン1 高齢者

〈参考指標〉

生きがいを持って暮らしている
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
NEW 高齢者タクシー料金助成事業 (高齢者外出支援事業)	小牧市	今後も増加が見込まれる高齢者に対し、幅広い用途で利用できる一般タクシーの料金を助成するチケットを配布する。 【対象者】要介護1以上の方 【チケット】24枚/年

2-① ヴィジョン2 農業・商工業

〈参考指標〉

農業サポーター制度登録者数：24人（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
NEW 生産緑地内市民農園開設支援事業 (市民菜園事業)	小牧市	生産緑地で市民農園を開設する個人・法人に対し補助金を交付する。
NEW インターンシップ受入助成事業 (次世代産業推進事業)	小牧市	市内の次世代産業関連企業によるインターンシップ受入れにかかる費用の一部を助成する。



東部まちづくりの進捗確認

アクションプランの実行

リーディングプロジェクト

実施中の取組

その他の新たな取組

取組方針の
達成度の確認

取組の改善、追加

10の参考指標（高齢者～住民活動） のCheck

まちの状態の把握
まちづくりの方向性の確認

重要業績評価指標（KPI）のCheck

KPI(重要業績評価指標)	基準値 (基準年)	目標値 (令和8年)	目標値 (令和13年)	測定方法
東部地域の生産年齢人口割合 ※15歳～64歳	63.4% (H27)	54.0%	50.7%	国勢調査データを基に算出します。

東部地域の将来像の実現



東部まちづくりの進捗状況って
どう把握していくのかな??



アクションプランは、リーディングプロジェクト、実施中の取組、その他の取組の 카테고리 と併せて、構想に記載するキーワード（取組方針）ごとにも分類されているんだよ。



へ～そうなんだ。
いろいろなカテゴリーに分類されていることはわかったけど、それがどう進捗状況の把握につながるのかな??



構想には、まちの状態を把握する指標（KPI）と、取組方針（キーワード）ごとに参考指標を設定してあるんだよ。
それぞれ、アクションプランで取組を進めて、構想で定める指標をCheckすることで、まちづくりの進捗状況を把握するんだよ。



なるほど！
構想の指標をCheckして、アクションプランの取組をみて、今後どんな取組が必要なのか、把握していくんだね！！

わたくしたち 小牧市民は、小牧を

- 1.健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう。
- 1.感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう。
- 1.緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう。
- 1.高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう。
- 1.希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう。

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

◆こども夢・チャレンジNo.1都市宣言（要約） 市制施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一、こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一、世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一、支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。